

## 「JPシートとWORKシート」

JPシートとWORKシートには共通の項目があります。

登録しているJP法オリジナル指標についての項目がそれに当たります。

JPシートを基準に考えると、弾性値、MAV指標、M指標、RJ指数、ハイローバンドです。

項目名	設定	項目名	設定	項目名	設定
短期弾性値	以上 0	出来高倍率	以下	最高値・最高値	周期
短期弾性値	以下	最大出来高	周期	最高値・最高値	以上
中期弾性値	以上	最大出来高か?		最高値・最高値	以下
中期弾性値	以下	短弾	向き 1	最高値・最高値	周期
長期弾性値	以上	中弾		最高値・最高値	以上
長期弾性値	以下	長弾	向き	最高値・最高値	以下
MAV指標	以上	MAV	向き	最高値	周期
MAV指標	以下	短期M	向き	最高値・最高値	以上
短期M指標	以上	中期M	向き	最高値・最高値	以下
短期M指標	以下	生中弾	向き	最高値	周期
中期M指標	以上	生中弾	向き	最高値・最高値	以上
中期M指標	以下	生長弾	向き	最高値・最高値	以下
生短弾性値	以上	短コスト	向き	長コスト/前日安値	以上
生短弾性値	以下	長コスト	向き	長コスト/前日安値	以下
生中弾性値	以上	短/長コスト	位置	長コスト/前日高値	以上
生中弾性値	以下	短コスト上/下抜け		長コスト/前日高値	以下
生長弾性値	以上	長コスト上/下抜け		生短弾/短弾	位置
生長弾性値	以下	短長DC後日柄	以上	終値/高値	以上
最高値	周期	短長DC後日柄	以下	終値/高値	以下
最高値比率	以上	短長GC後日柄	以上	終値/安値	以上
最高値比率	以下	短長GC後日柄	以下	終値/安値	以下
最高値日柄	以上	短弾/中弾	位置	新値	周期
最高値日柄	以下	中弾/長弾	位置	安値更新本数	以上
最高値日柄	周期	短弾/長弾	位置	安値更新本数	以下
最高値比率	以上	陽線/陰線?		高値更新本数	以上
最高値比率	以下	高値切り上/下がり		高値更新本数	以下
最高値日柄	以上	安値切り上/下がり		足取り:5本設定	
最高値日柄	周期	RJ指数	以上 55	ハイローバンド	周期 3
出来高倍率	以下	RJ指数	以下	ハイローバンド	向き 1
出来高倍率	以上	RJ指数	向き	短中M間カイリ	以下

その他の項目である最高値比率や日柄などの項目はWORKシートにはありません。

またJP法オリジナル指標であってもJPシートでは、数値と向きのみ設定出来ますがWORKシートでは、前日の値や、基準値を超えたという設定も出来ます。

またWORKシートでは同一の指標について周期を変更して一度に3つまでセットする事が出来ます。

JPシートでも弾性値に限っては、短期（周期13）、中期（26）、長期（50）と周期は固定ではありますが、3つセットする事が出来ます。

ハイローバンドは1つの周期しか登録する事が出来ません。

3日が買い場で、15日が買い転換した、などという設定はJPシートでは出来ません。WORKシートなら可能です。

JPシートとWORKシート、どうしてバラバラになっているのかというと、JP法ソフトの生立ちから2つに分かれていたためです。Windowsの前のOSであるMS-DOS時代がそうであったため、それを引き継ぐ形でWindows版のJP法ソフトを作ってしまったためです。

今までMS-DOS版のJP法ソフトを使っている方が、スムーズにWindows版JP法ソフトへ移行出来るようにしたわけです。

どこかのタイミングで、J PシートとWORKシートを共通にしたかったのですが、プログラムが複雑になりすぎて、現在に至っているのが実情です。

ご利用中の皆様におかれましては、使いづらく申し訳なく思っております。

今回は、J PシートとWORKシートの共通項目を使って、J PシートをWORKシートへ移植させてみたいと思います。

使うシートは、前ページにある「このサインが消えたらコール売り」です。

セットされている指標は、弾性値、R J指数、ハイローバンドのみです。

これならWORKシートへ移植が可能です。

### ■WORKシートへ移植

下記の項目のみ使います。

	チェック	周期			V字			以上			以下		
		短	中	長	短	中	長	短	中	長	短	中	長
弾性値	<input checked="" type="checkbox"/>												
カイリ度	<input type="checkbox"/>												
Sカイリ度	<input type="checkbox"/>												
コストカイリ度	<input type="checkbox"/>												
Sコストカイリ度	<input type="checkbox"/>												
順位相関係数(RCI)	<input type="checkbox"/>												
相対力指数(RSI)	<input type="checkbox"/>												
サイコロジカルライン	<input type="checkbox"/>												
オシレータ	<input type="checkbox"/>												
RCI(加速度指数)	<input type="checkbox"/>												
STC	<input type="checkbox"/>												
M指標(周期固定)	<input type="checkbox"/>												
MAV指標(周期固定)	<input type="checkbox"/>												
出来高倍率	<input type="checkbox"/>												
出来高倍率2	<input type="checkbox"/>												
S相対力指数(RSI)	<input type="checkbox"/>												
Sオシレータ	<input type="checkbox"/>												
RJ指数	<input type="checkbox"/>												
VR①(ホリョーぶツオ1)	<input type="checkbox"/>												
VR②(ホリョーぶツオ2)	<input type="checkbox"/>												
移動平均①	<input type="checkbox"/>												
移動平均②	<input type="checkbox"/>												
ハイローバンド	<input type="checkbox"/>												
中値線①(高値採用)	<input type="checkbox"/>												
中値線②(安値採用)	<input type="checkbox"/>												
株価位置	<input type="checkbox"/>												
中値線	<input type="checkbox"/>												
高値安値線変動率	<input type="checkbox"/>												
出来高移動平均	<input type="checkbox"/>												

## ● J Pシートの内容 その1

短期弾性値 「0」以上 短弾向き 「1」・・・上向き

これと同じ条件をWORKシートへ入力してみます。

※「短」の項目を使います。

The screenshot shows a spreadsheet window titled 'WORK分析シート 日足用 77番'. The '弾性値' (Elasticity) row has '0' entered in the '短' (Short) column. The '周期' (Period) row has '1' in the '短' column and '13' in the '中' (Medium) column.

	チェック	周期			V字			以上			以下		
		短	中	長	短	中	長	短	中	長	短	中	長
弾性値		1	13					0					
カイリ度													
Sカイリ度													

周期 短に「13」を入力します。

※ J Pシートの短期弾性値の周期が「13」だからです。

シートを右方向へスクロールさせます。

The screenshot shows the spreadsheet window after scrolling to the right. The '昇降' (Rise/Fall) row has '1' entered in the '短' (Short) column. A blue arrow points from the text below to this cell.

		DC以下			大小			昇降			基準値		上下
		短中	中長	短長	短中	中長	短長	短	中	長	短	中	長
弾性値								1					
カイリ度													
Sカイリ度													

昇降が「1」は上向きという意味です。

## ● J Pシートの内容 その2

R J指数 「55」以上

※周期 短に「14」、中に「9」を入力します。

※ J PシートのR Jの周期だからです。

The screenshot shows the spreadsheet window after scrolling to the right. The 'R J指数' (R J Index) row has '14' in the '短' (Short) column and '9' in the '中' (Medium) column. The '弾性値' (Elasticity) row has '55' entered in the '短' (Short) column.

	チェック	周期			V字			以上			以下		
		短	中	長	短	中	長	短	中	長	短	中	長
Sオシレータ													
R J指数		14	9					55					
VR①(※リユ-ムシ)													

※WORKシートは、「短」、「中」、「長」と3つの項目がありますので間違いないようにご注意下さい。

また「短」、「中」、「長」という表現は便宜上です。周期その1、周期その2、周期その3と同じ事です。

### ● J Pシートの内容 その3

ハイローバンド 周期「3」 向き「1」・・・買い場という意味

※「短」の項目を使います。

	チェック	周期		V字		以上		以下	
		短 中 長		短 中 長		短 中 長		短 中 長	
移動平均①									
移動平均②									
ハイローバンド	1	3							
中値線①(高値採用)									

シートを右方向へスクロールさせます。

	短長	大小	中長	短長	昇降	基準値	上下抜	長
		短中			短 中	短 中	短 中	短 中 長
移動平均②								
ハイローバンド					1			
中値線①(高値採用)								

昇降が「1」は買い場という意味です。

※この買い場という意味はハイローバンドのみです。他の指標については、「上向き」という内容です。

ここまでで、J Pシートの内容をWORKシートへの移植が終わりました。

※チェックする指標については必ずチェックに「1」を入力しておいて下さい。

ここに「1」が入っていないと、その指標は無視されます。チェックしません。以上や昇降に数値が入っていても、無視されます。

	チェック	周期	V字	以上	以下	長
		短 中 長	短 中 長	短 中 長	短 中 長	
弾性値	1	13		0		
カイリ度						
Sカイリ度						
コストカイリ度						
Sコストカイリ度						
順位相関係数(RCI)						
相対力指数(RSI)						

シート全体はこうなります。次ページ

WORK分析シート 日足用 77番

コメント

一覧表 取込 CSV 変更 初期化 印刷 保存 閉じる

	チェック	周期			V字			以上			以下		
		短	中	長	短	中	長	短	中	長	短	中	長
弾性値	1	13						0					
カイリ度													
Sカイリ度													
コストカイリ度													
Sコストカイリ度													
順位相関係数(RCI)													
相対力指数(RSI)													
サイコロジカルライン													
オシレータ													
RCI(加速度指数)													
STC													
M指標(周期固定)		4.13	9.26										
MAV指標(周期固定)		4.13	9.26										
出来高倍率													
出来高倍率2													
S相対力指数(RSI)													
Sオシレータ													
RJ指数	1	14	9					55					
VR①(ボリューム①)													
VR②(ボリューム②)													
移動平均①													
移動平均②													
ハイローバンド	1	3											
中値線①(高値採用)													
中値線②(安値採用)													
株価位置													
中値線													
高値安値線変動率													
出来高移動平均													

この数値は固定なので無視して下さい。  
※消しても表示されます。

WORK分析シート 日足用 77番

コメント

一覧表 取込 CSV 変更 初期化 印刷 保存 閉じる

	大小			昇降			基準値			上下抜			本幅		
	短	中	長	短	中	長	短	中	長	短	中	長	以上	以下	以
弾性値				1											
カイリ度															
Sカイリ度															
コストカイリ度															
Sコストカイリ度															
順位相関係数(RCI)															
相対力指数(RSI)															
サイコロジカルライン															
オシレータ															
RCI(加速度指数)															
STC															
M指標(周期固定)															
MAV指標(周期固定)															
出来高倍率															
出来高倍率2															
S相対力指数(RSI)															
Sオシレータ															
RJ指数															
VR①(ボリューム①)															
VR②(ボリューム②)															
移動平均①															
移動平均②															
ハイローバンド															
中値線①(高値採用)															
中値線②(安値採用)															
株価位置															
中値線															
高値安値線変動率															
出来高移動平均															

## ■チェックの比較

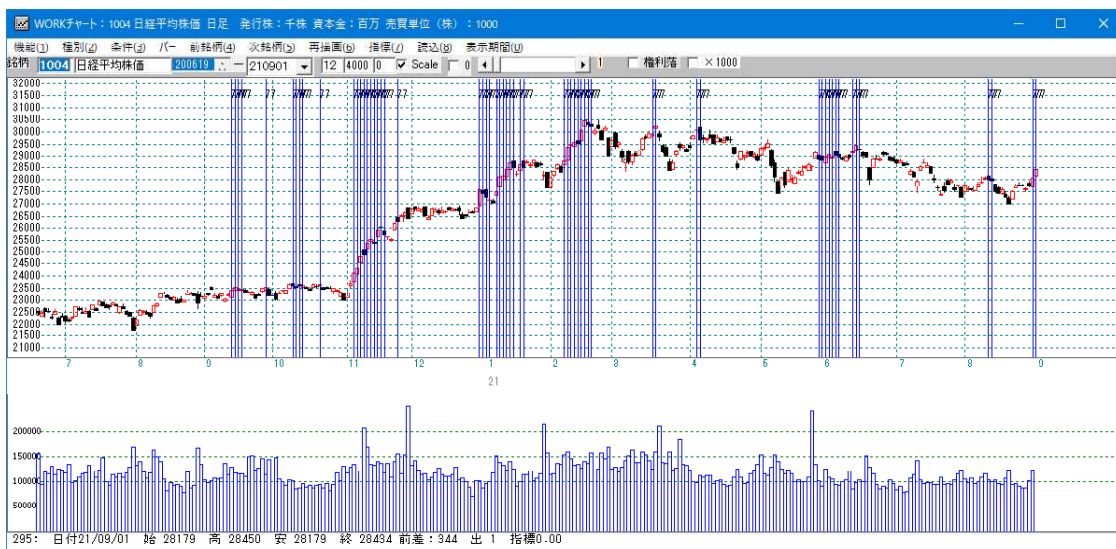
それでは、JPシート、WORKシートをチェックして同じになるか見てみましょう。

各チャートから「条件」－「チェック」です。

### JPシートの場合



### WORKシートの場合



同じところにサインが表示されています。

移植は成功しました。

## ■WORKシートへ追加

この完成したシートに指標を追加してみましょう。

ハイローバンド 周期「15」 買い場転換という内容を追加します。

J Pシートではこうなります。

コメント 日経平均 買いサイン-1- 図解JP法(4)、(32)

短期弾性値 以上	出来高倍率 以下	最高値・最低値 周期	出来高水準 周期
短期弾性値 以下	最大出来高 周期	最高値/最低値 以上	出来高水準 以上
中期弾性値 以上	最大出来高か?	最高値/最低値 以下	短中M間カイリ 以上
中期弾性値 以下	短弾 向き	最低値/最高値 周期	MACD①(4-20) 向き
長期弾性値 以上	中弾 向き	最低値/最高値 以上	MACD②(5-20) 向き
長期弾性値 以下	長弾 向き	最低値/最高値 以下	短M/中M 位置
MAV指標 以上	MAV 向き	最高値 周期	生中弾/中弾 位置
MAV指標 以下	短期M 向き	最高値/安値 以上	生中弾/長弾 位置
短期M指標 以上	中期M 向き	最高値/安値 以下	株価水準 以上
短期M指標 以下	生短弾 向き	最低値 周期	株価水準 以下
中期M指標 以上	生中弾 向き	最低値/高値 以上	
中期M指標 以下	生長弾 向き	最低値/高値 以下	
生短弾性値 以上	短コスト 向き	長コスト/前日安値 以上	
生短弾性値 以下	長コスト 向き	長コスト/前日安値 以下	
生中弾性値 以上	短/長コスト 位置	長コスト/前日高値 以上	
生中弾性値 以下	短コスト上・下抜け	長コスト/前日高値 以下	
生長弾性値 以上	長コスト上・下抜け	生短弾/短弾 位置	
生長弾性値 以下	短長DC後日柄 以上	終値/高値 以上	
最高値 周期	短長DC後日柄 以下	終値/高値 以下	
最高値比率 以上	短長GC後日柄 以上	終値/安値 以上	
最高値比率 以下	短長GC後日柄 以下	終値/安値 以下	
最高値日柄 以上	短弾/中弾 位置	新値 周期	
最高値日柄 以下	中弾/長弾 位置	安値更新本数 以上	
最高値日柄 以上	短弾/長弾 位置	安値更新本数 以下	
最高値日柄 以下	陽線・陰線?	高値更新本数 以上	
出来高倍率 周期	高値切り上・下がり	高値更新本数 以下	
出来高倍率 以上	安値切り上・下がり	足取り・5本設定	
	RJ指数 以上	ハイローバンド 周期	15
	RJ指数 以下	ハイローバンド 向き	4
	RJ指数 向き	短中M間カイリ 以下	

向き「4」・・・買い転換という意味

先に書きましたが、J Pシートではハイローバンドの項目は1つの周期しか登録する事が出来ません。

シートでは既に周期「3」を使用していますから、同じシートに周期「15」を入力する事は出来ません。

そこでWORKシートの登場です。

こちらのシートであれば、同一の指標は3つまで周期を変更して入力する事が出来るからです。

※M指標、MAV指標は周期固定で2つまでです。

RJ指数は1つです。周期を変更して複数のRJ指数を入力する事は出来ません。

入力内容については、WORKシートの解説書をご覧ください。

WORKシートの解説 直リンク先

<http://www.neuralnet.co.jp/user/manual/1/page092.htm>

勉強会の資料にも設定方法があります。

<http://www.neuralnet.co.jp/user/benkyou.html>

ハイローバンド 周期「15」 買い場転換を追加

※「中」項目を使います。

WORKシート 日足用 77番

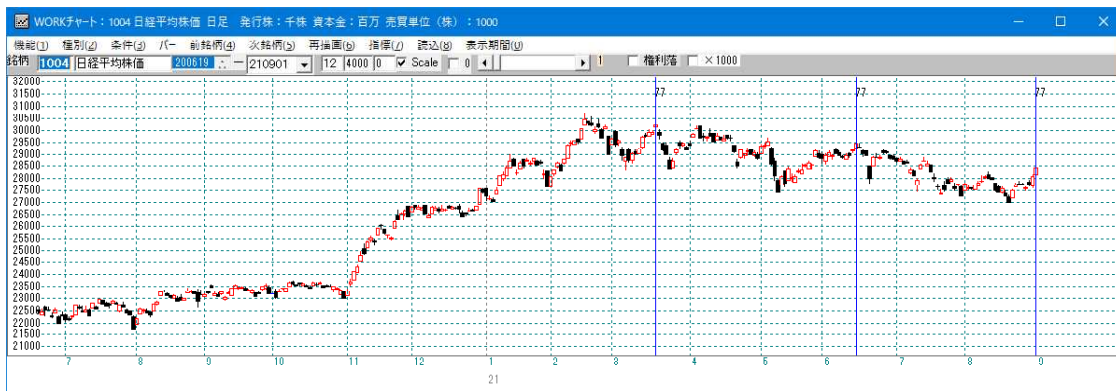
コメント

一覧表 取込 CSV 変更 初期化 印刷 保存 閉じる

	チェック	周期			V字			以上			以下		
		短	中	長	短	中	長	短	中	長	短	中	長
弾性値	1	13						0					
カイリ度													
Sカイリ度													
コストカイリ度													
Sコストカイリ度													
順位相関係数(RCI)													
相対力指数(RSI)													
サイコロジカルライン													
オシレータ													
RCI(加速度指数)													
STC													
M指標(周期固定)		4.13	9.26										
MAV指標(周期固定)		4.13	9.26										
出来高倍率													
出来高倍率2													
S相対力指数(RSI)													
Sオシレータ													
RJ指数	1	14	9					55					
VR①(ボリューム①)													
VR②(ボリューム②)													
移動平均①													
移動平均②													
ハイローバンド	1	3	15									1	
中値線①(高値採用)													
中値線②(安値採用)													
株価位置													
中値線													
高値安値線変動率													
出来高移動平均													

V字に「1」・・・買い転換という設定となります。※ハイローバンドだけ他の指標は、下降から上昇に転じたとなります。

あらためてチェックして下記の表示となれば、成功です。



このようにJPシートからWORKシート、またはWORKシートからJPシートへと移植できる場所がありますので、両方を補う形で使ってみてください。

JPシートの強みは日柄をセット出来るところ、WORKシートの強みは3つ周期を変更して登録出来ることです。